

経営比較分析表（令和3年度決算）

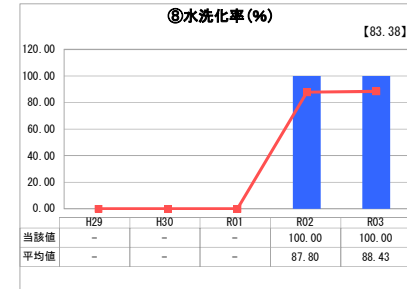
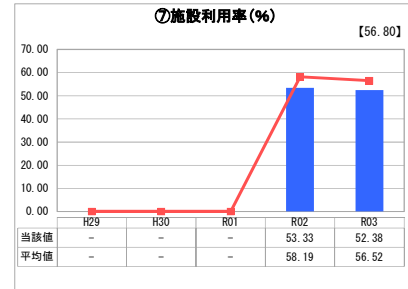
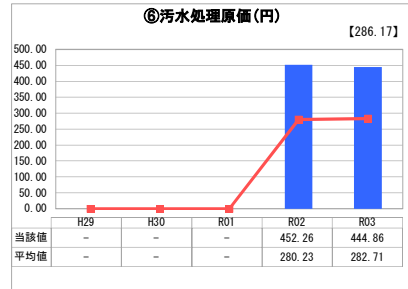
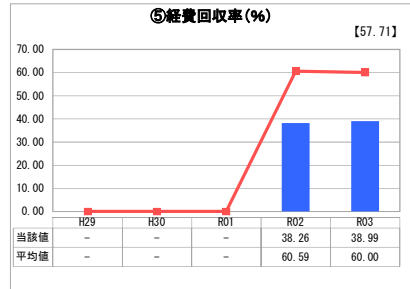
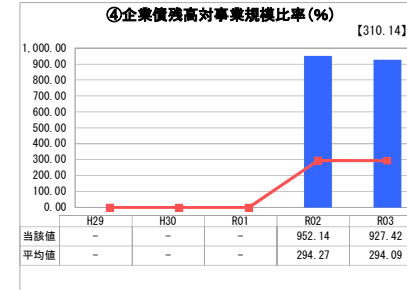
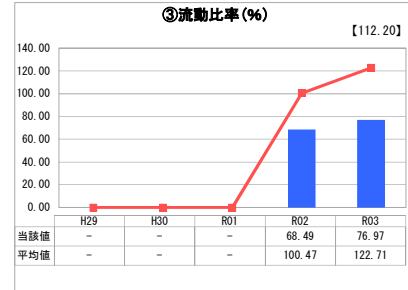
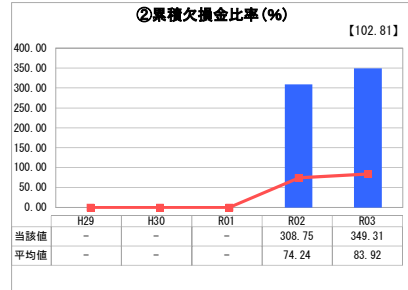
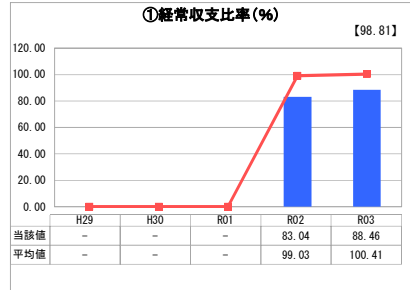
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	19.01	4.89	100.00	3,300

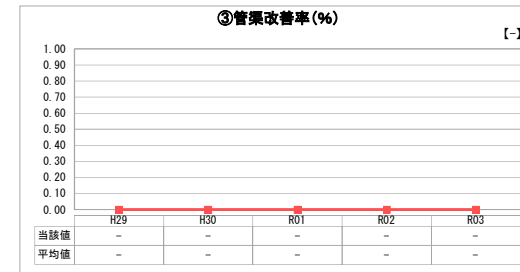
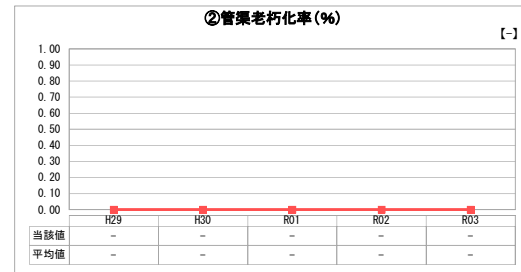
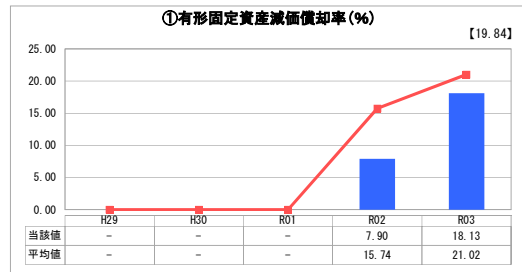
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
118,400	487.60	242.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,759	166.45	34.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、令和2年度に比べ僅かに改善しているが、100%以下であり単年度赤字が続いている。それにより②累積欠損金比率が悪化した。主な要因としては維持管理費の増加が考えられる。
 ③流動比率については、若干のプラスとなっているが、相対的に低い水準であり、短期的な支払能力が万全な状態とは言えない状況である。
 ④企業債残高対事業規模比率については、企業債借入の減少により少しは改善されているが、平均値と比べると高い数字となっている。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、僅かに改善したものの、維持管理費が高く、使用料で賄っていない状況に陥っている。
 ⑦施設利用率については、類似団体と近い数値で推移している。
 ⑧水洗化率については、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について、減価償却累計額の増加により令和2年度よりも増加となった。

全体総括

○経営の健全性・効率性について、汚水処理原価が高く、使用料で賄えていない状況にあり、今後益々その傾向が強くなる見込みである。また、経費回収率が低い水準で推移しており、抜本的な対策を要する事態となっている。
 現在、令和6年度に使用料改定を行うこととしており、事業継続に向けた経営改善を図ってゆく。
 ○老朽化の状況として、有形固定資産減価償却率の増加とともに、既設浄化槽の更新に向けての準備が必要となるので、計画的な資金の確保が求められる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。